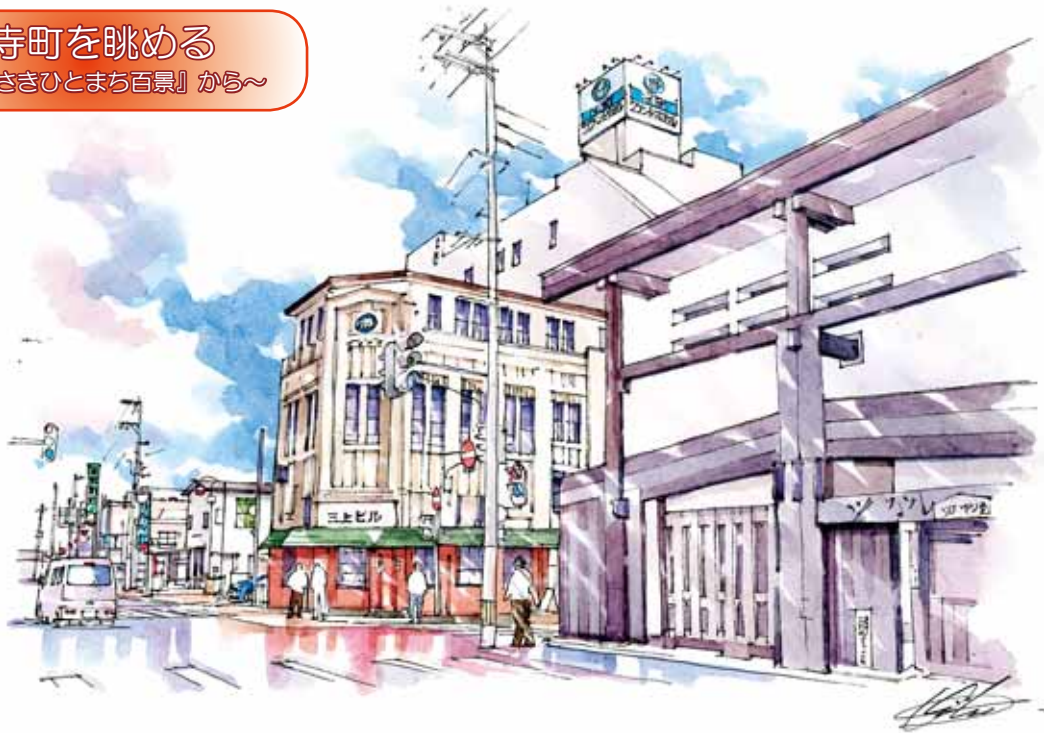


ひろさき 市議会だより

第33号

平成25年12月発行

元寺町を眺める
～『ひろさきひとまち百景』から～



このイラストは、制作者である津軽ひろさきマーチング委員会の承諾のもとに、使用しています。

議会トピックス

議員報酬の改定

これまで、市議会の姿勢として、議員報酬月額を5%減額していましたが、8月に出された弘前市特別職報酬等審議会の答申に基づき、報酬額を改定する（7.6%の減額を基本とする）ことになりました。

○減額後の議員報酬月額	※（ ）内は減額前
議長	578,000円（625,600円）
副議長	518,000円（560,800円）
議員	490,000円（530,000円）

定例会の一般質問のラジオ放送開始

議会広報の充実のため、定例会の一般質問のラジオ放送を開始しました。

この取り組みは、次回定例会以降も行う予定です。放送についての概要は次のとおりです。

- 番組名 市議会today
- 放送局 FMアップルウェーブ
(周波数78.8メガヘルツ)
- 内容 一般質問の様様を当日午後8時から放送

弘前市議会より台風で被災された皆さまへ

去る9月に発生した台風18号により、被災された市民の皆さまに対し、心からお見舞いを申し上げます。

未曾有の大災害から1日も早く元の生活に戻れるよう、国、県はもとより、弘前市においては、理事者と議会とが一体となって取り組まなければならない最優先課題である、と強く認識しております。

私たちが最大限の努力をいたしますので、速やかな復旧を心から祈念し、被災された皆さまに重ねてお見舞い申し上げます。

(台風に対する市議会の対応は、8ページ(最終面)に特集記事として掲載しています。)

※今号の市議会だよりは、平成25年第3回定例会(会期:8月30日から9月27日まで29日間)の内容を中心に、平成25年7月17日から10月15日までの出来事について掲載いたしました。

平成25年第3回定例会

市長提出議案 29件

今定例会では、常任委員会（総務・厚生・経済文教・建設）、特別委員会（予算決算）で、議案が審査されました。

- 弘前市議員報酬、費用弁償等の額及びその支給方法条例の一部を改正する条例案
- 弘前市特別職の職員の給料等に関する条例の一部を改正する条例案
- 弘前市教育委員会の教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例案

これらの条例案は、8月に出席された弘前市特別職報酬等審議会の答申に基づき、特別職の報酬月額等を改定するものです。

- 平成25年度弘前市一般会計補正予算（第8号）
特別職等の給与の減額、弘南鉄道大鰐線の存続に向けた対策経費、弘前公園のウソによるさくらの鳥害対策経費、地域福祉基金積立金の追加等の計上
が主な内容です。

補正額 5億7278万7千円

9月補正後の平成25年度予算

一般会計 793億 327万3千円
(9月補正額 14億852万円)
特別会計 432億9052万5千円
(9月補正額 8269万6千円)

決算審査

- 平成24年度の予算がどのように使われたのかについて、4日間の決算審査が行われました。
- 平成24年度弘前市一般会計歳入歳出決算の認定について

歳入額	766億7897万8763円
歳出額	756億6457万9445円
繰越額	10億1439万9318円

決算案に対する討論

賛成・反対それぞれの立場からの討論の要旨を掲載します。

- 反対
 - ・ヒロロスクエアへの予算措置
 - ・弘前ウォーターフロント開発株式会社への予算措置
 - ・介護保険料の大幅値上げには反対
 - ・高すぎる国民健康保険料
- 賛成
 - ・各種施策を積極的に展開しており、また、財源確保のため、国等への積極的な働きかけを行い、健全な財政運営に意を注いでおり、誠実かつ、合理的に予算を執行したものと判断。

議員提出議案 1件

- 弘前市議会議員の議員報酬の特例に関する条例を廃止する条例案
議員報酬を改定する条例案が提出されたことから、特例条例を廃止するものです。

陳情 1件

- 「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択」に関する陳情について（ご依頼）
※陳情書は議員に参考配付しました。

委員会等活動報告

議会制度等調査特別委員会

- 月日 7月30日(火)
場所 市役所
案件 ①予算決算特別委員会における質疑方法について
- 月日 9月4日(水)
場所 市役所
案件 ①予算決算特別委員会における質疑方法について
- 月日 10月7日(月)
場所 市役所
案件 ①予算決算特別委員会における質疑方法について

産業振興対策等調査特別委員会

- 小型地熱発電に関する新たな補助制度の創設についての要望書提出
- 月日 8月6日(火)
場所 資源エネルギー庁
(東京都)
- 月日 8月22日(木)
場所 市役所
案件 ①中間報告について

要望活動後、8月30日(金)本会議で、中間報告を行いました。
・新エネルギーに関する件
・都市機能整備に関する件

岩木川中流部改修事業及び台風18号関連の要望活動は、8ページに掲載しています。

- 月日 9月27日(金)
場所 市役所
案件 ①中央要望について

青森県市議会議員研修会



牛山久仁彦氏による講演

- 日時 10月7日(月)
- 場所 アップルパレス青森
(青森市)
- 演題 自治体議会改革について
- 講師 明治大学
政治経済学部教授
うしやま くにひこ
牛山 久仁彦 氏
- 弘前市参加議員：20名
- 主催 青森県市議会議長会

一 般 質 問

各質問者が執筆しました質問・答弁の要約を掲載いたします。
 ※敬称略。()は所属党派。登壇順に記載。文責は質問者にあります。



小西 勇一
 (日本共産党)

弘南鉄道大鰐線について

問 存続戦略協議会の性格、目的は。
答 本協議会は大鰐線存続に向けて、多角的な視点から評価・分析を行い、今後の鉄道輸送の維持及び利便性向上のための支援の在り方等に関する協議を行うことを目的に設置したものである。

市道豊田4号線の整備について

問 これまで何度か取り上げてきたが、その後、どのような検討をされたのか。

答 弘南鉄道踏切付近の交差点は見通しが悪いと、これまでカーブミラーや隅切りで対応してきたところであるが、まだ十分であるとは考えていない。その点については、さらなる改良の余地があると認識している。

改良にあたっては、現地と公図の形状に違いがみられるため、事業化の実現性について、詳細な調査を実施中であり、今年度中に取りまとめる予定である。



小山内 司
 (憲政公明)

岩木川市民ゴルフ場の今後の取扱い

問 手続き及び選定基準について。
答 市民ゴルフ場の新たな指定管理者については、単なる管理運営だけではなくスポーツの振興、市民の健康増進などについて、より積極的に事業を企画・立案できる事業者を選定したいと考え、他の体育施設を含め調査の結果、1社から技術提案がよせられており、これらを参考にしながら公募に向けて作業を進める。

指定管理者の指定期間について

問 市の考えを問う。
答 所管課からは4年では短いという意見があったことや他自治体との比較でも短いという状況にあることから、原則の期間を5年に変更している。

なお、5年を超える指定期間については、施設の設置目的やサービス提供の継続性等を勘案し、個別に定めることができることとしている。



石田 久
 (日本共産党)

社会保険制度の改悪について

問 国は介護認定を受けた要支援1・2の人154万人の保険給付外しを打ち出したが、弘前市民の影響はどれくらいか。
答 平成25年4月現在、2,855人で総認定者数に占める割合は26.7%、認定者のうち介護予防サービスを利用した受給者は2,045人で、要支援1・2の認定者のうち71.6%が介護予防を受けている。
問 特別養護老人ホームから、要介護1・

2の人を締め出そうとしているが、弘前市民への影響はどれくらいか。

答 市内の特別養護老人ホーム入所者の要介護1・2と認定されたのは、平成25年4月現在、当市の入所者655人中13人で3.5%となっている。

〈その他の質問項目〉
 ○国保 ○年金 ○弘前市立病院
 ○産後ケア ○市特別職報酬等審議会



蒔 苗 博 英
 (憲政公明)

中学校免許教科外教師の現況について

問 小規模校等での免許教科外教師の現状はどのようになっているのか。
答 市内中学校23人が免許教科外教科を指導。教科は家庭科7人、技術5人、美術4人等となっている。

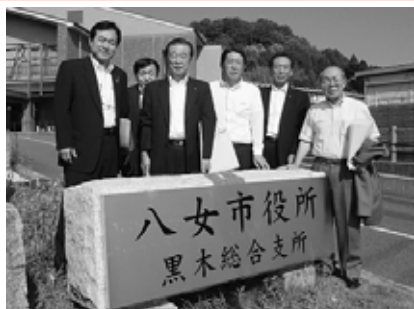
百沢スキー場今シーズンの営業計画について

問 グレンデ環境対策を示せ。
答 圧雪車の増備は検討調整する。

国の重要無形民俗文化財「弘前ねぶたまつり」の在り方について

問 待機時間の厳格化により交通渋滞が発生した。待機時間を緩和できないか。
答 集合時間、運行終了後のねぶたの搬入など、まつりの運営方法については、参加団体の意見を伺いながら調整を図り、改善に努めていく。

一般行政視察の概要



福岡県八女市黒木総合支所にて

- 望雲会・弘前市民クラブ(藤田隆司)
 日時 8月25日(日)～28日(水)
- ①長崎県長崎市
 - ・中心市街地活性化事業の支援について
 - ・まち歩き観光～長崎さるく～について
 - ②佐賀県鹿島市
 - ・鹿島市議会基本条例について
 - ・重要伝統的建造物群保存地区対策事業について

- ③福岡県八女市
 - ・まちづくり協議会事業について
 - ・予約型乗合タクシー事業について

2～3ページでは、定例会での会議以外の弘前市議会の活動もご紹介しています。

弘前市
 マスコットキャラクター
 たか丸くん





佐藤 哲
(自民の会)

弘前ウォーターフロント開発の解散問題

問 (1) 経営検討協議会の今後の手順
(2) ゴルフ場の不動産の扱いについて
(3) 清算中の期間のゴルフ場の維持は
(4) 筆頭株主としての市の責任は

答 会社は解散の方向に向っている。不動産及び設備を確実に利用できるよう、できるだけ経費負担の少ない方法も検討しながら維持する。ゴルフ場は来年も営業するように対応していく。

除雪について

問 旧岩木町は除雪では定評があった。市街地は従来の方式、郊外は旧岩木方式と二通りの方式での除雪は可能か。

答 除排雪経費は、1キロあたり旧岩木町が約98万5千円、新弘前市が約115万5千円。従来の方法を見直し、早朝除雪にロータリーが追従する方式を実験する。住民の満足度を高める工夫をしながら、効果的・効率的な作業をしていく。



谷川 政人
(憲政公明)

泉野多目的広場について

問 広場の利活用と今後の施設整備方針の現状について問う。

答 ファシリティマネジメントの手法による分析とワークショップからの意見を照らし合わせ検討作業をしている。整備のコンセプト案としては、「近隣住民の避難場所となる多目的なコミュニティの場所」という方向で調整を進めており、年度内には整備方針を決定したい。

子ども・子育て支援新制度について

問 平成27年4月から実施となる子ども・子育て支援新制度実施に向けた取り組み状況について問う。

答 子どもがいる保護者に対し、ニーズ調査を行い、年度内には教育・保育・子育て支援の需要量見込みを確定させる。また、平成26年9月頃までに子ども・子育て支援事業計画案を取りまとめる予定となっている。



伏見 秀人
(無所属市民の会)

成年後見支援センターの利用状況と今後

問 成年後見支援センターの現状と今後の対応を問う。

答 「成年後見支援センター」は、安心して適切に市民後見人が活動できるよう支援していくとともに、制度の適切な利用につなげるためのもので、相談は開設直後から多数寄せられた。今後は、広報誌や市のホームページへの載せ方を工夫し、積極的にPRを考えている。

学校教育としての「主権者教育」

問 社会的無関心の現状から、学校における「主権者教育」を問う。

答 子どもたちが主権者としての自覚をもち、主体的に社会に関わって生きていこうとする意識を高めていくためには、今の社会が未来を担う子ども達に対して愛情をもって大切にしていかなければならず、それにはまず学校が子ども達を大切に育てていかなければならない。



尾崎 寿一
(憲政公明)

弘前市運動公園について

問 弘前市運動公園の各施設が利用者のニーズに答えるべく環境を整備し充実させていく必要があるのではないかと。今後のリニューアルを含む整備について。

答 経年劣化への対応にとどまらず競技ルール変更や、全国規模の大会にも対応しうる利用価値を高めるための改修など各施設とも抜本的整備が求められている。野球場のスコアボード改修や選手控

室の整備が必要であると考えている。テニスコート、克雪トレーニングセンターなどの施設においても必要な改修を行い維持していく。陸上競技場では二種公認の更新改修のほか、サッカースタジアムとしても活用できるようフィールド部分の改修の実施も検討したい。

〈その他の質問項目〉

○弘南鉄道大鰐線について

○ため池について



菊池 勲
(無所属市民の会)

今後の社会体育施設のあり方について

問 スポーツ行政の変化と人口が減少していく弘前市において、社会体育施設の再配置や環境整備などの計画が必要だと考えている。どのように考えているか？

答 社会体育施設の今後の再編改修にあたっては、ファシリティマネジメントの手法を取り入れ、施設の最適な配置、長寿命化、維持管理費の低減などの視点で、計画策定に努めて参りたい。

介護におけるケアプラン点検について

問 「介護の過剰サービス」がおこらないように、全国ではケアプランチェックを行っている。弘前市の取り組みは？

答 本年度、新たに職員2名を採用し、全85事業所を対象に点検を実施している。サービスの種類や利用頻度の適正化、面接による課題分析等がプランに反映されているかを点検内容とし、1年間で247プランの点検を行う予定。



工藤良憲
(自民の会)

なぜ岩木川は東北1位の汚染河川なのか

問 白神山地のきれいな河川源水が途中で東北一の汚れた水になる原因は何か。
答 BODが上昇する(汚れる)のは、生活排水及び河川ゴミの影響が考えられる。水質向上の為、生活排水が直接流入することの防止として、合併処理浄化槽の普及促進などを図っていく。

弘前市の人口減少の原因は何か

問 平成25年現在、17万9900人、ますま

す減少する傾向がみられる。大問題だ。
答 平成40年には約13万人にまで減少するという将来推計もあり、危機感を持っている。子育て支援や労働環境の改善、雇用開拓事業所訪問、新規卒卒者の働き口の確保等、積極的に進めていく。

弘南鉄道大鰐弘前線について

問 沿線の大規模開発と企業誘致は。
答 長期的視点では利用は見込めるが、現在は即効性のある利用が急務である。



越明男
(日本共産党)

弘前ウォーターフロント開発(株)について

問 ①市と法人との協議状況②解散に向けての市の対応や財政出動、指定管理者の行方など、葛西市長に答弁を求める。
答 6月27日からの3回にわたる会社と市の協議で、「会社の解散」「指定管理は公募」などの方向性を見出した。会社の預り金の対応については、今後会社が解散手続きを進める中で決定される事項と考える。

市営住宅の環境整備について

問 市営住宅に関する住居者からの要望等を踏まえ、①除排雪②ミニ公園の遊具③立木について、市の見解を問う。
答 除排雪については駐車場は冬期間に1回排雪を行い、その他は入居者が協力し合っている。児童公園に設置の遊具については、毎年1回保守点検を行っている。また、立木については、せん定、刈込みは計画的に行っている。



外崎勝康
(憲政公明)

いじめについて

問 スクールカウンセリングの状況等。
答 カウンセラーを配置している市立小・中学校は、中学校が8校、小学校が4校あり、配置されていない学校も、必要に応じて派遣してもらうことが可能である。昨年度の配置12校の延べ相談者は約900名となっている。当市として、全中学校に「心の教室相談員」を配置しており、教育相談体制を充実させている。

発達支援について(健康福祉部)

問 現状及び計画について。
答 平成24年度から障がい児の早期発見・早期療育及び成長の段階に応じて一貫した支援ができるシステムを構築するために、検討会議を開催してきた。幼児期から成人期まで一貫した支援を行う、行政、医療機関、障がい児者施設等で構成する「発達支援チーム」の早期設置に向けて、庁内の体制を整備していく。



鶴ヶ谷慶市
(憲政公明)

今年度の農道除雪計画について

問 昨年今年と2年続きの豪雪で、りんご農家は大変な苦労を強いられたが、今年度の農道除雪計画を問う。
答 平成25年度の農道除雪計画は全体で約325キロメートルの幹線農道を対象としている。実施は道路維持課と、農村整備課の民間委託により行う。

るが、今年のような記録的な積雪の場合は降雪状況に応じた、柔軟な対応を図る。又、昨年度実施した「りんご樹雪害対策農道等除雪モデル事業」と「りんご樹雪害対策スノーモービル農道圧雪モデル事業」を拡大し、農家の負担軽減を図る。

- 〈その他の質問項目〉
 ○津軽三味線について
 ○自転車による交通事故について

実施は例年どおり積雪量が安定して減少し始める2月20日頃からを予定してい

平成25年第3回定例会日程等

(29日間)

8月23日(金) 議会運営委員会	会期日程等の協議	9月18日(水) 特別委員会	予算、決算審査
8月30日(金) 本会議	開会、会期の決定、提案理由の説明	9月19日(木)～9月24日(火)	特別委員会 決算審査
8月31日(土)～9月9日(月)	議案熟考	9月25日(水)～9月26日(木)	議事整理
9月4日(水) 特別委員会	議会制度等調査	9月27日(金) 本会議	各委員長の報告、質疑、討論、表決
9月10日(火)～9月12日(木)	本会議		閉会
9月13日(金) 本会議	一般質問 一般質問、予算決算 特別委員会の設置、議案付託		
9月17日(火) 常任委員会	総務、厚生、 経済文教、建設		

市議会議員全員協議会も開催されました。

- ① 9月24日(火) 台風18号による被害について
- ② 9月27日(金) 自治基本条例(中間報告)について



今 薫
(無 所 属)

市役所職員のクールビズについて

問 現状について問う。
答 地球温暖化防止の一環として、市職員に対し夏の軽装としてノーネクタイの執務を認めている。
 また、本会議における理事者側の指定ポロシャツの着用は、議会運営委員会のご理解を頂き平成23年6月の定例会から着用しているものである。

広報ひろさきにもっと「たか丸くん」を

問 活字離れが叫ばれる子どもたちに、広報ひろさきを読んでもらうために、「たか丸くん」の活用を提案したい。
答 「たか丸くん」を市政などのコーナーに活用することで、広報ひろさきをあまり読まない人や、市政に関心のなかった人などが興味をもって読むきっかけとなり、広報の更なる向上への一つの手段になるよう検討していきたい。



加 藤 とし子
(弘前市民クラブ)

食物アレルギー対応食について

問 学校給食での実施状況について。
答 卵、牛乳・乳製品、小麦、そば、ピーナッツの五大原因食品を対象に4月から開始。41名の児童生徒に対し、延べ624食を提供。2学期からは、魚卵、甲殻類、長芋、桃の4種類を追加し、1年生他も合わせて提供者数は57名に。
 各学校で自主的にエビペントレーナーを使用した講習会を実施している。

家庭系・事業系生ごみ減量化について

問 実施状況を示せ。
答 生ごみの占める割合は重量で約5割。市では、公募によるモニター家庭へ水切り器具を配布して実証実験を行う。
 〈その他の質問項目〉
 ○小中学校における平和教育について
 ○弘前ねぷたまつりについて
 ○防災行政（福祉エリアの設置と避難所のあり方、被災動物の対策）について



畑 山 聡
(望 雲 会)

弘前市の経済活性化について

問 アベノミクス効果を弘前の経済の活性化にどのように生かすか。
答 地域経済の持続的な発展を目指し、かつ、観光収益力の向上や、伝統工芸品やりんご農産物等の地場産品の積極的な販売など、地域外からの外貨獲得を戦略的に推し進め、アベノミクス効果を楽しむことができる体制づくりを進めていく。

問 度々指摘しているが、弘前市の種々の設置要綱に基づく市民懇談会等の設置と謝金の支出は地方自治法の附属機関条例主義に反する違法なものではないか。

答 他自治体の事例や判例、学説などを参考にすると共に、10月に採用予定の弁護士とも相談しながら、懇談会等を規定するガイドラインを作成し精査する。
 〈その他の質問項目〉
 市役所新庁舎等の増築の是非について

附属機関について

平成25年第4回定例会日程（予定）

(11月18日(月) 議会運営委員会 会期日程等の協議)
 11月29日(金) 開会日(本会議) 開会、会期の決定、提案理由の説明
 12月20日(金) 閉会日(本会議) 各委員長報告、質疑、討論、表決、閉会
 ※日程については、議会開会前にホームページ等でご確認ください。

**議会本会議を
傍聴しませんか**

議会の本会議（開会日、一般質問、閉会日）は、どなたでも傍聴することができます（午前10時開会）。傍聴をご希望の方は、市役所庁舎4階の傍聴受付で傍聴券の交付を受けてください。受付では、住所、氏名の記載が必要です。傍聴券は、交付日限り有効です。傍聴席の数には限りがあり（傍聴席32席＋車イス用傍聴スペース2席分）、入室できない場合もあります。なお、今定例会では、6日間の本会議について、延べ77の方が傍聴されました。また、市役所本庁舎2階のモニターやインターネットでもご覧いただけます。

弘前市議会ホームページ

<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/gyosei/gikai/index.html>
 インターネット議会中継、会議録・映像検索システム、議会の日程など、市議会に関する情報は、こちらでご覧いただけます。



小山内 司	石田 久	三上 秋雄	佐藤 哲	越 明男	工藤 光志	清野 一榮	田中 元	栗形 昭一	宮本 隆志	三上 惇	高谷 友視	下山 文雄	藤田 隆司	柳田 誠逸	藤田 昭	工藤 良憲
○	●	○	○	●	○	○	—	●	○	○	○	○	○	○	○	○
○	●	○	○	●	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	●	○	○	●	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○

平成25年第3回定例会審議結果

※議会での慎重審議により、承認、認定、可決となりました。

市長提出議案：29件

予算関係：8件

決算関係：8件

条例関係：9件

その他：4件

議員提出議案：1件

特集 台風被害に対する議会の対応

9月16日に最接近した台風18号は、大きな被害をもたらしました。市議会としても、この災害に迅速に対応するため、活動を行っております。今後も、一刻も早い復旧・復興のために、尽力してまいります。



市内被害状況の調査

集中豪雨の翌日9月17日には、大きな被害が出たとされていた、大川地区など市内3箇所を現地調査しました。

りんご園地等の状況について説明を受けたほか、道路冠水により回り道を強いられるなど、市内の被害の大きさを確認しました。

産業振興対策等調査特別委員会・要望活動



8月6日 松下国土交通大臣政務官（当時）に要望書を提出



10月11日 山田国土交通省水管理・国土保全局治水課長に要望書を提出

産業振興対策等調査特別委員会では、かねてからの懸案事項である河川改修を中心として、8月1日は青森河川国道事務所（青森市）、8月5日は東北地方整備局（仙台市）での要望活動を行い、翌6日には国土交通省で松下新平国土交通大臣政務官へ直接要望書を手渡しました。

この度の台風18号の被害を受けて、改めて岩木川改修の重要性が浮き彫りとなったため、また、被災した農林業への支援策も必要なことから、緊急に中央要望を行いました。

10月11日、国土交通省では山田邦博水管理・国土保全局治水課長、農林水産省では高橋洋大臣官房参事官に、直接要望書を手渡したほか、関係機関に対して、要望活動を行いました。

農林水産省・要望事項の概要

平成25年台風18号に伴う農林被害に係る支援について

1. 災害復旧事業・災害対策関連事業等の促進について
2. 応急対策工事の実施に対する支援について
3. 被災した農業者の再生産活動に向けた融資等の支援について
4. 被災した農業者の生活の支援について
5. 農業用施設・機械の復旧支援について

国土交通省・要望事項の概要

岩木川中流部大川地区の堤防整備について

1. 治水事業の促進について
2. 大川地区の堤防整備促進について
3. 津軽ダムの早期完成について

補正予算の審議

災害復旧事業、被災者支援事業に係る経費等を計上した補正予算が、9月27日定例会最終日の本会議に追加提出されました。

審議の過程で、議員より「緊急を要するところで、業者が非常に不足していると聞いているが、そういった緊急性のある応急処置的なものをどのように考えているか。」「隣接するほかの自治体にも実際及んだ大きな被害だと認識している、ほかの町村でしている手だてを弘前市ではどのように考えているのか」といった質疑が出されました。

審議の結果、全会一致でこれを可決しました。

○平成25年度弘前市一般会計補正予算（第9号）

補正額 7億7386万5千円

発行／弘前市議会

編集／ひろさき市議会だより編集特別委員会

〒036-8551 弘前市大字上白銀町1-1

電話 0172-35-1121

FAX 0172-35-3005